

回生放電ユニット取扱説明書

このたびは、当社製品“回生放電ユニット”をお買い上げくださいます、誠にありがとうございました。

この取扱説明書を熟読ご理解頂き、取り扱いに十分注意しながら適切にご使用ください。

この取扱説明書は、後々まで保存をお願いします。

1. 用途

軸本体のモータが減速時に発生する発電エネルギーを回生放電ユニット内の回路で吸収させるものです。負荷イナーシャが許容値を越える場合や発電量が多くなる場合に使用し、コントローラでの過電圧発生を防止します。

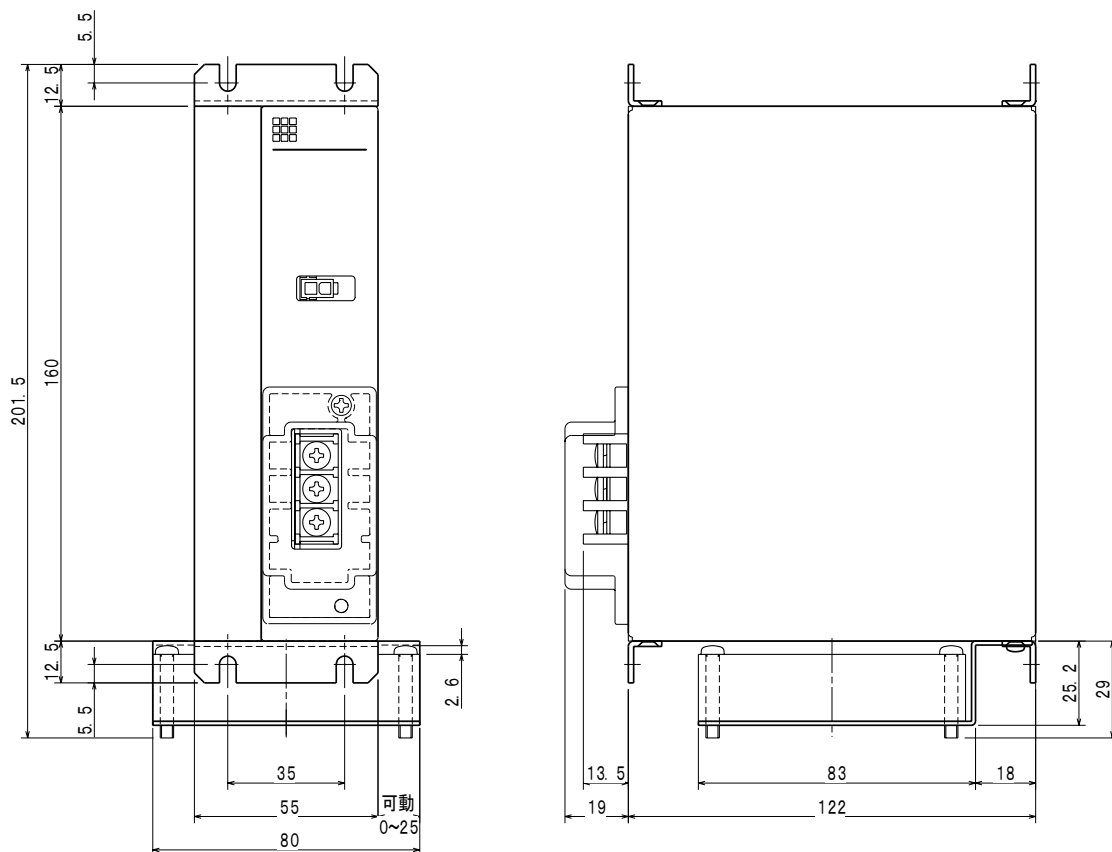
2. 仕様

形式	KCA-ABSU-4000		備考
回生動作電圧	DC 390V		
冷却方式	強制空冷方式（冷却ファン使用）		
冷却ファン仕様	DC 24V-0.19A		ブラシレスDCモータ
保護機能	放電抵抗温度150℃で温度リレー動作。 出力接点：1b		接点容量 AC 125V/4A AC 250V/4A
適用コントローラ	KCA-25-M40/S40 KCA-20-M40/S40 KCA-10-M40/S40		400Wコントローラ
周囲条件	設置場所	室内	
	使用周囲温度	0～40℃	
	使用周囲湿度	30%～90%RH 結露なきこと	
	使用周囲雰囲気	腐食性ガスのないこと	
	保存周囲温度	-20～70℃	
	保存周囲湿度	30%～90%RH 結露なきこと	
	保存周囲雰囲気	腐食性ガスのないこと	
	振動	9.8m/s ² 以下	
外形寸法	80(W)×189(H)×122(D)		冷却ファン含む 取付金具含まず
質量	0.94kg		

注意

適用コントローラ以外のコントローラを組み合わせ使用した場合、回生放電ユニットは故障したり、動作しない場合があります。

3. 外形寸法

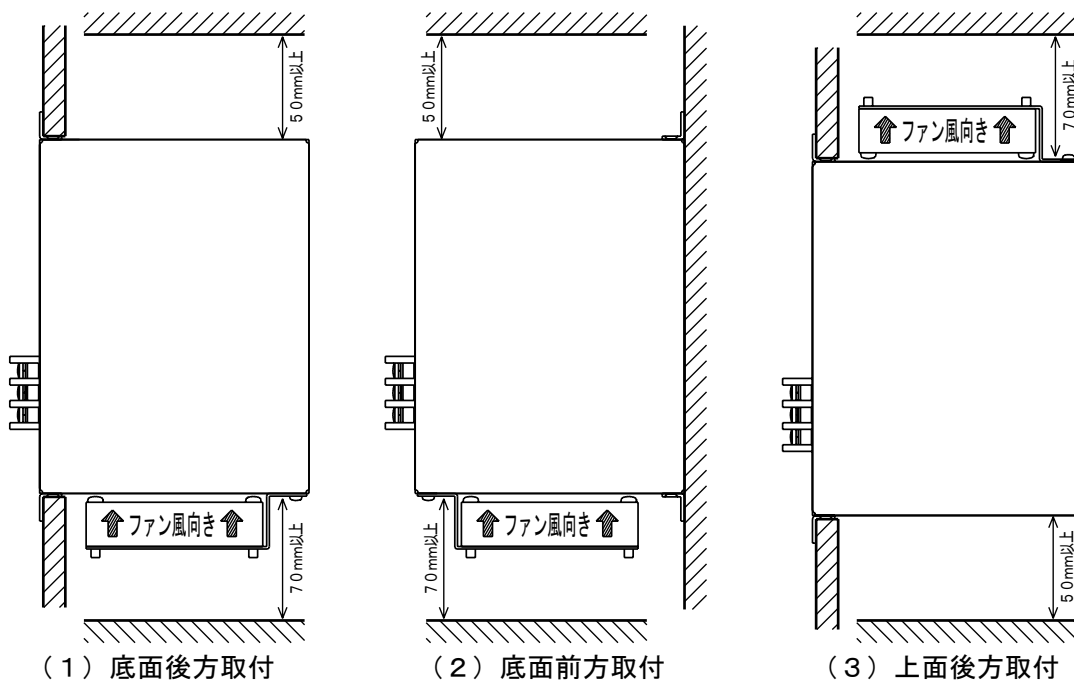


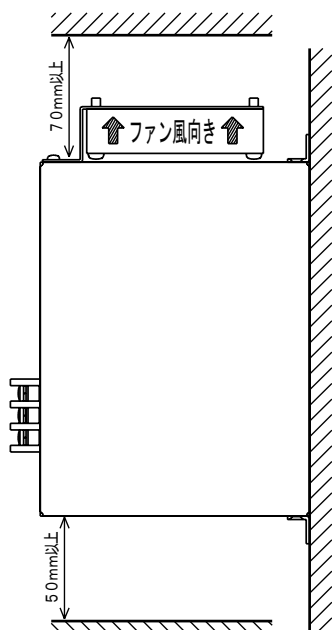
- ・本図は冷却ファンをユニット本体底面後方に取付けた場合のものです。
- ・冷却ファンの横位置は、上図の可動範囲内で任意の位置に取付けることができます。

4. 設置

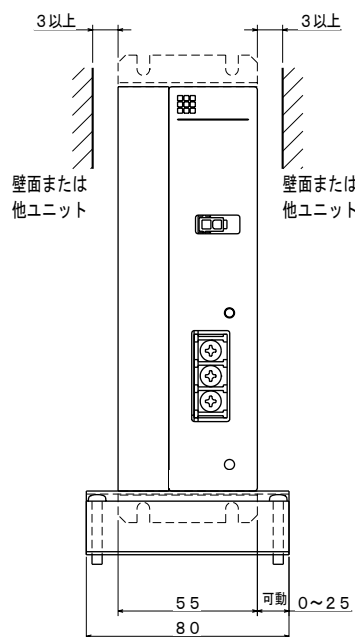
本機は冷却ファンによる強制空冷方式を採用しています。設置の際は必ず縦置きとし、冷却ファンを取り付け、上下の通気孔をふさがないように図中寸法の通りスペースをとってください。

通気が不完全ですと十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因にもなります。





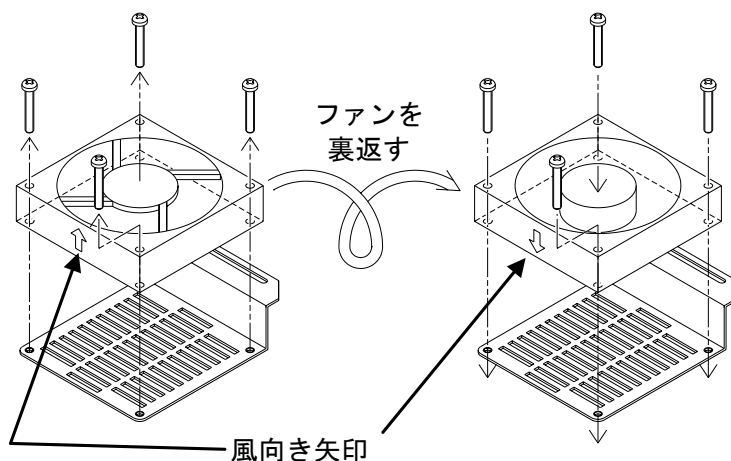
(4) 上面前方取付



使用中、ユニット本体は高温になる場合があります。ユニット本体に隣接する壁面、または他ユニット等には密着させず、両側 3mm 以上の間隔をあけて設置してください。

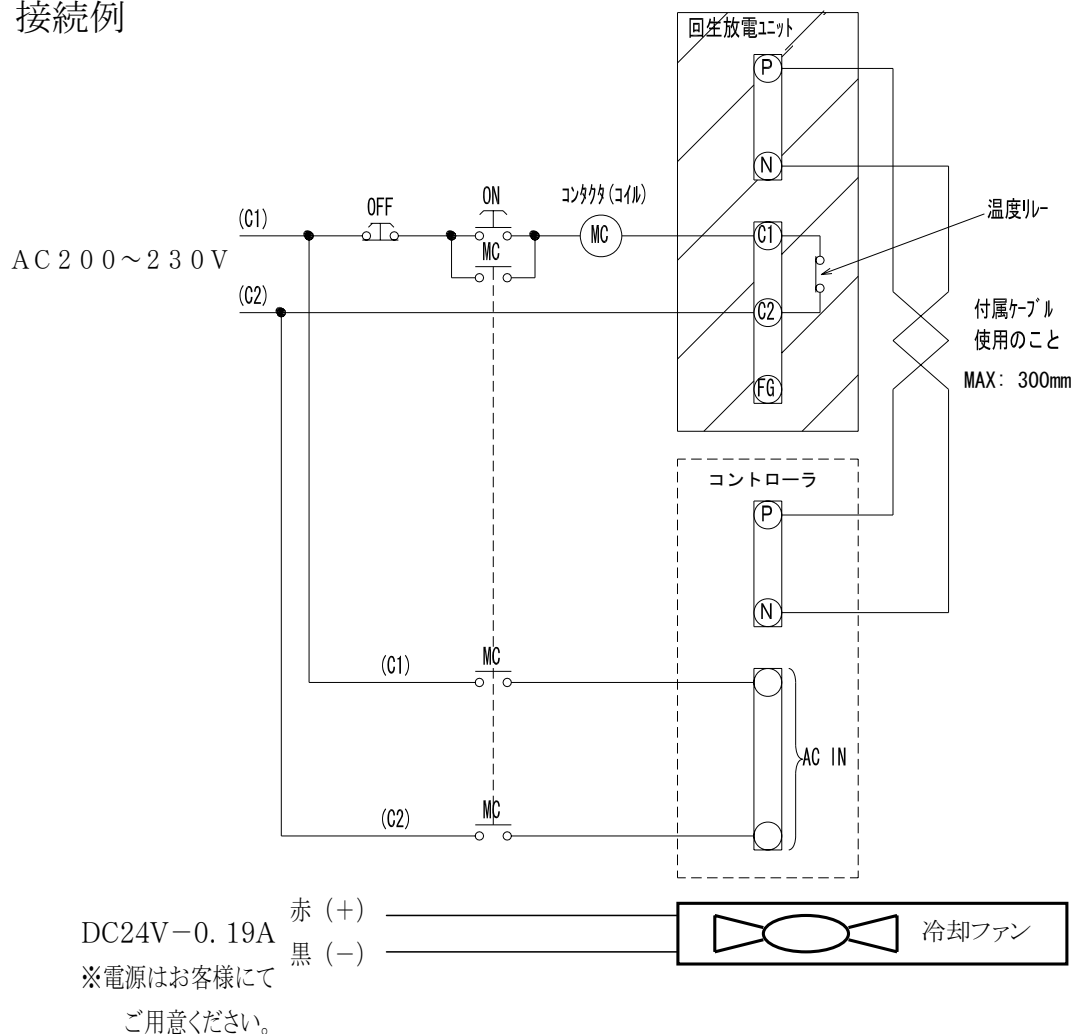
冷却ファンの横位置は、上図の可動範囲内で任意の位置に取付けることができます。

ファン風向は何れの設置方法においても上向き（下から上へ）となるように設置します。出荷時は底面取付になっておりますので、図(3)、(4)のようにファンを上面に取付ける場合は下図のように一度ネジを外し、ファンを裏返して取付けて下さい。



通気孔から回生放電ユニット内部に、液体、ゴミ等の異物が入らないようにしてください。尚、本機は防塵構造になっておりません。塵埃の多い場所での使用はお避けください。

5. 接続例



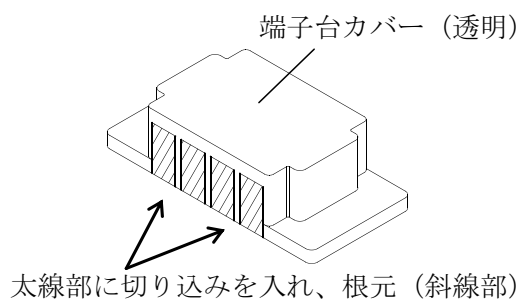
6. 使用上の注意

- ・回生放電ユニット放電抵抗には、150℃になると動作する温度リレーが内臓されています。
- ・このリレーが動作すると、回生放電ユニット出力端子C1-C2間がオープンになります。
- ・温度リレー動作時、必ずコントローラが停止するようにシーケンスを組んでください。
- ・温度リレーは一旦動作すると、リセット（正常状態に復帰）するまでに、3分程度必要です。

7. 付属端子台カバーの使い方

端子台への配線後、感電防止の為、付属の端子台カバーを必ず取付けてください。

端子台カバーは、配線取り出し方向を確認の上、加工してお使いください。



リード線取り出し口を設ける為、必要に応じてニッパー（又はカッター）等で左図のごとく斜線部を取り除いてください。反対面側からの取り出しも可能です。